

雨水出水浸水想定区域図に関するよくあるご質問についての回答

番号	質問	回答
1	内水氾濫とは何ですか？	<p>下水道や水路等の排水施設の排水能力を超える雨が降ると、雨水が管路や道路側溝などで排水しきれずに溢れたり、地上にたまったままになります。たまった雨水により道路冠水や家屋等の浸水被害が発生します。</p>
2	雨水出水浸水想定区域図とは何ですか？	<p>国土交通大臣が定める基準(水防法第14条の2)に基づいて設定した想定最大規模降雨が発生した際に、下水道の能力を超えるような雨水の流入や河川等の水位上昇に伴い、雨水が排水できないことによる浸水の発生(内水氾濫)が想定される区域を示した図のことを言います。</p>
3	ハザードマップとの違いは何ですか？	<p>ハザードマップは、円滑な避難行動や平常時からの防災意識の向上を図るために、浸水想定区域図をもとに水害時の避難場所、避難方法などの情報を追加し、作成するものです。</p> <p>内水氾濫ハザードマップは、雨水出水浸水想定区域図をもとに作成しております。</p>
4	雨水出水浸水想定区域の指定を行う目的は何ですか？	<p>岸和田市では10年確率降雨(1時間最大雨量51.7mm)に対応する下水道整備を進めていますが、近年下水道の能力を超えるような大雨が全国的に増加しています。</p> <p>このような状況を踏まえ、想定最大規模降雨(1時間最大雨量147mm)が発生した場合に想定される浸水区域を指定し、浸水リスクの高い区域を明らかにすることで、市民の皆さまの雨水出水時における円滑で迅速な避難を確保し、または浸水を防止することにより、水災による被害の軽減を図ることを目的に雨水出水浸水想定区域の指定を行います。</p>

雨水出水浸水想定区域図に関するよくあるご質問についての回答

番号	質問	回答
5	区域に指定されるとどうなりますか？	雨水出水浸水想定区域に指定されると、市は内水氾濫ハザードマップを作成し配布するなどの措置を講ずる必要があります。岸和田市では、想定し得る最大規模での内水氾濫ハザードマップを作成し危機管理課HPで公開しています。また、土地建物取引時には重要事項の記載の対象となります。
6	想定最大規模降雨とは何ですか？	想定し得る最大規模の降雨のことを言い、国土交通省が作成した想定最大規模降雨の設定手法に基づいて設定しています。 岸和田市では市内の雨量観測所における時間最大雨量が史上1位であった平成24年9月15日に観測された時間最大雨量69mmをもとに、地域ごとに定められた最大降雨量となるように引き伸ばして作成しており、1時間最大雨量147mmの降雨としております。
7	時間147ミリメートルの雨はどのくらいの雨ですか？	岸和田市では市内の雨量観測所における時間最大雨量史上1位は、平成24年9月15日に観測された時間最大雨量69mmでした。147ミリメートルはその約2倍以上の降雨量で、イメージとしては視界が悪く、恐怖を感じる程の猛烈な雨です。
8	過去に岸和田市で観測した最も大きな降雨は？	平成24年9月15日に山滝中学校観測所で観測された最大時間雨量69.0mm、24時間雨量70.0mmの降雨です。

雨水出水浸水想定区域図に関するよくあるご質問についての回答

番号	質問	回答
9	浸水深の目安はありますか？	<p>浸水深の目安は、一般的に0.5m未満で床下浸水、0.5m以上で床上浸水とされています。</p> <p>また、3.0m以上で家屋の1階が水没し、5.0m以上で家屋の2階が水没するとされています。</p>
10	<p>雨水出水浸水想定区域図ができたのはいつですか？</p> <p>また、この図の内容に変更があった場合、どうやって確認できるのでしょうか？</p>	<p>指定年月日は令和8年2月6日です。</p> <p>この図の内容に変更があった場合は、岸和田市の公式ホームページなどで告知する予定です。</p>
11	<p>浸水深が0.1m未満のところ（着色がないところ）は内水氾濫に対して安全ですか？</p>	<p>雨水出水浸水想定区域図は、想定最大規模降雨を対象に、一定の条件をもとに作成したものであり、雨の降り方によっては、この図に示している浸水深よりも大きくなる場合があります。</p> <p>雨水出水浸水想定区域図では想定していない落ち葉や土砂等による雨水ます、側溝、水路の詰まり等により発生する浸水についても、この図に示されていない場所で浸水する可能性がありますので、ご注意ください。</p>
12	雨水出水浸水想定区域図を作成するにあたりどこを対象区域としていますか？	<p>市域全域に対して解析を行っています。管路及び地表面モデルによる解析の範囲と、地表面モデルによる解析の範囲があります。範囲については雨水出水浸水想定区域図を参照ください。</p>

雨水出水浸水想定区域図に関するよくあるご質問についての回答

番号	質問	回答
13	雨水出水浸水想定区域図は、宅地建物取引における重要事項説明に該当しますか？	水防法第15条に基づく内水氾濫ハザードマップは危機管理課HPにて公開しています。重要事項として説明ください。
14	浸水が想定される区域の土地売買・土地利用は制限されますか？	雨水出水浸水想定区域の指定により、土地売買・土地利用が制限されることはありません。
15	うちの地盤は周辺と変わらないのに、なぜ浸水するのですか？ 地盤高はどのように決めていますか？	地盤の高さは、国土地理院基盤地図情報（測量年次H21、R4）の数値標高モデルを使用しています。そのため、現況と異なる場合があります。市街地の大部分は測量年次がH21年度であるため、開発事業等で地盤の高さが異なっている可能性があります（一部把握できた範囲で地盤高の修正を実施しております。）。また浸水シミュレーション時は、国土地理院基盤地図情報の5mピッチの地盤高データを、周辺を含めた平均値でメッシュ化（20㎡～120㎡）しているため、隣地が低い場合は実際の地盤高より低く評価されることがあります。
16	雨水出水浸水想定区域図は何をもとに作成しましたか？	国土交通省発行の雨水出水浸水想定区域図作成マニュアル（案）（令和3年7月）に基づいて作成しました。

雨水出水浸水想定区域図に関するよくあるご質問についての回答

番号	質問	回答
17	雨水出水浸水想定区域図における浸水継続時間の表示は行っていますか？	雨水出水浸水想定区域図における浸水継続時間の表示は、浸水深50cm以上が概ね24時間以上継続する場合には表示することとされています。岸和田市においては、該当する区域がありませんので、浸水継続時間の表示は行っていない。
18	浸水シミュレーションとは何ですか？	地盤高等の地形情報、主要な下水道（雨水）や水路等の排水施設、放流先である河川の状況等をコンピュータ上で再現し、任意の雨を降らせた場合、どのように浸水するのかを総合的に解析するものです。
19	管路及び地表面モデルによる解析の範囲と、地表面モデルによる解析のみの範囲があるのでしょうか？	沿岸地域の一部、包近流木線（すいどう道）より山側の区域は、雨水管路が少ないため、地表面モデルのみの解析となっています。
20	排水施設情報はいつ時点のものですか？	令和6年度時点の情報です。
21	雨水出水浸水想定区域図は河川からの溢水（外水氾濫）は考慮されていますか？	令和6年度末時点で洪水浸水想定区域図策定済みの河川（牛滝川・春木川・津田川・松尾川）の溢水は考慮していません。 二級河川の外水氾濫による浸水想定区域を確認されたい方は、各河川における洪水浸水想定区域図をご確認ください。